

第三十六回

白謡会・研究会番組

平成二十九年一月二十九日(日)午前九時半始

於・横浜能楽堂研修舞台(045・263・3050)

素 謡

ツレ 関口 節子

難 波

シテ 関口 潔 ワキ 一坂 洋三

地頭・渡邊長壽、副地頭・河野健三

朝 長

シテ 北島 大靖 ワキ 越後貫隆

ワキツレ 小林 宏三

地頭・舎川重隆、副地頭・三武 孝

仕 舞

賀 茂

内田 節子

羽 衣キリ

姥澤 賢

遊行柳キリ

小島 洋子

花 月キリ

中尾 操

地謡・平戸仁英、青山圭佑、内田節子、河野健三、山口健次

連 吟

草子洗小町

シテ 森川 洋子 貫之 佐川 武子 子方 永野由紀子

地謡・尾崎純子、石井静江、神崎克子、近藤たね子、中尾操、竹川綾子

素 謡

忠 度

シテ 三武 孝 ワキ 渡邊 長壽

地頭・青山圭佑、副地頭・一坂洋三

千 手

ツレ 齊藤千賀子

シテ 高井 倫子 ワキ 石井佑卯子

地頭・鈴木邦子、副地頭・龍田啓子、石井静江

連吟

小塩

シテ 齊藤 三紀 ワキ 森 庸一
地謡・棟居禮子、石井佑卯子、森川洋子、加藤千恵子、堤美代子、鈴木紀子

咸陽宮

シテ 西澤滋幸 ツレ 長谷川次八 ワキ 小島洋子 ワキツレ 鈴木幸子
地謡・山口健次、山森和夫、河野健三、中山眞秀、榎澤 賢、三村 勉

素謡

子方 石井 静江
鷺尾 神崎 克子
兼房 西澤 滋幸
義経 中山 眞秀

接待

シテ 松嶋 總子 ワキ 菅原 秀子

地頭・平戸仁英、副地頭・北島大靖

仕舞

難波

糸井多倍子

東北キリ

堤 美代子

采女キリ

加藤千恵子

歌占キリ

龍田 啓子

地謡・平戸仁英、渡邊長壽、一坂洋三、小林宏三、榎澤 賢

連吟

熊野

シテ 西尾まつ枝 ワキ 尾崎 純子
地謡・石井佑卯子、神崎克子、糸井多倍子、齋藤千賀子、佐川武子、竹川綾子

素 謡

子方 鈴木 紀子

船弁慶

シテ 松本 幸子 ワキ 鈴木 邦子

ワキツレ 棟居 禮子

地頭・関口 潔、副地頭・舎川重隆

(終演午後四時半頃)

注① 連吟の範囲

「草子洗小町」は、十丁表の貫之「小町しばらく・」より、十三丁表の地留まで。

「小塩」は、後シテの「月やあらぬ・」より最後まで。

「咸陽宮」は、七丁裏のシテ「いかにケイカ・」より最後まで。

「熊野」は、十一丁表のシテ「花前に蝶舞う・」より最後まで。

注② 昼食は各自で弁当などをご用意下さい。また、飲み物としてペットボトルなどをご持参下さい。

注③ 会費は白謡会既定の役料に懇親会費等を基本会費として加算させて頂きます。各自で当日に

会計幹事(小林様、越後隆様)にお支払い下さい。

注④ 進行状況に応じて、地謡の一部を省略させて頂きます。(その都度地頭と相談して決めます)

注⑤ 終了後、「一の蔵」で、簡単な新年会を催します。 (12・20版)